交流事業

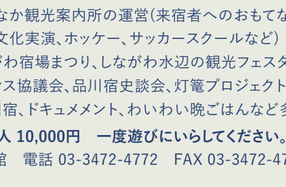
東海道シンポジウム戸塚宿大会について

「第37回 東海道シンポジウム2025 戸塚宿大会」に初めて参加しました。保土ヶ谷に9年、戸塚に28年住む私には、旧東海道の記憶がよみがえりました。小学生の課外学習で権太坂（境木）から品濃一里塚まで歩いた際、普段の道がかつては難所で、行き倒れた旅人や馬の亡骸が「投込塚之跡」に投げ込まれたという話を聞き、強い衝撃を受けたことを、改めて思い出しました。今回のシンポジウムでは、保土ヶ谷宿～戸塚宿の資料に加え、神奈川台場や横浜の歴史、戸塚の伝統行事「お札まき」なども学びました。また、宿場の文化を語り、守り継ぐ担い手、とくに若手の人手不足が課題だと知り、その点についても考えてみたいと思うきっかけになりました。旧東海道を通して地域ごとの文化や歴史、人とのつながりの面白さを再確認できました。これからも旧東海道を歩いてみて新たな視点で地域を楽しみたいと思っています。（天王洲リテールマネジメント（株）松岡久美子）



蒲原西小学校修学旅行

10月23日（木）蒲原西小学校の修学旅行6年生24名が品川宿を訪れました。新幹線の新富士駅から新馬場駅に到着。品川神社の富士塚に登り宝物殿を拝観後、荏原神社をお参りして丸屋さん前の旧東海道へ。ここで宿場の景観を守るための電線の地中化や街道松等、地元の人達の活動を織り込んで、5人のガイドが生徒達を案内しました。聖跡公園にはまち協やガイドしながわ、地元の人達がお迎え、生徒達による「蒲原の街の魅力」についてプレゼンが行なわれました。西小学校は少子化の影響で、令和8年度東小学校と統合される予定で生徒数も3倍に増えるため、今回が最後の品川訪問になりそうです。（伊東 進）



ジュネーブ交流

7月29日、スイス・ジュネーブからの青少年団を迎え、南品川の店舗で青物横丁商店街会長の権さんにご挨拶いただき、食事を含む交流会を実施しました。品川シーサイドにある花時計を見学し、品川寺ではご住職からお話を伺い、ジュネーブから戻った鐘を一人ずつ撞いて記念撮影を行いました。来年は、飲食店や商店街、寺社との連携をさらに深め、国や世代を越えた交流が日常的に生まれる受け入れ体制を整え、単発の受け入れにとどまらず、品川宿らしい国際交流として継続的に行っていきます。（宿場トラベル　長谷川信一郎）



しながわっこプロジェクト

城南小学校6年生歴史探訪

東海道歴史探訪は、2017年から続く城南小学校6年生の市民科授業で、品川区の協賛を得て毎年開催されています。今年は12月9日（土）に第9回が行われ、子供たちは10人ほどのグループに分かれて決められたルートを巡りました。まちづくり協議会のスタッフが同行し、各ポイントでは侍や町人に扮した案内役が登場。当時の出来事や偉人の生涯を臨場感豊かに語り、地域の歴史を楽しく学ぶ機会となりました。（しながわっこプロジェクト・なぎさの会　井上明裕）



第15回 品川小学校東海道駅伝･マラソン大会

11月30日、旧東海道で周辺6校の小学生が参加する「東海道駅伝」が開催されました。本大会は各校PTAが中心となって組織する実行委員会が主催し、今年で15回目を迎えます。品川区長の合図で子どもたちが元気よくスタートし、沿道には多くの地域住民が見守りました。PTAに加え、地域の皆さまの協力により、安全に事故なく大会を終えることができました。今後も地域のつながりを深め、まちの活性化につながる行事として、毎年継続していきたいと考えています。（しながわっこプロジェクト・なぎさの会　井上明裕）



旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会　会員募集のご案内

まちづくりはみんなでたのしく！　どんな提案もオッケー、どなたでもウェルカム、すべてオープンです。
品川宿では今日もどこかで何だか楽しそうなことが動いています。お預かりした会費は各プロジェクトの運営費としています。

1. 月例運営委員会　毎月最終火曜日20時～（年末など変更あり）　場所：品川宿交流館　どなたでも見学、参加、提案オッケーです！
2. 広報活動（会報「みこしだこ」、「品川宿かわら版」の発行、HP･FB運用など）
3. 品川宿交流館、南品川櫻河岸 まちなか観光案内所の運営（来宿者へのおもてなし、地域交流、活動･イベント受入など）
4. サポート事業（区内学校支援、伝統文化実演、ホッケー、サッカースクールなど）
5. 地域事業の主催･共催･協力（しながわ宿場まつり、しながわ水辺の観光フェスタ、しながわ運河まつり、品川浦･天王洲地区運河ルネッサンス協議会、品川宿史談会、灯篭プロジェクトなど他多数）
6. 応援プロジェクト（ゲストハウス品川宿、ドキュメント、わいわい晩ごはんなど多数）

◎年会費／団体･法人 30,000円　個人 10,000円　一度遊びにいらしてください。ご連絡お待ちしています！

品川区北品川2-28-19　品川宿交流館　電話 03-3472-4772　FAX 03-3472-4770　メール machikyo@west.cts.ne.jp

\HPはこちら/

東海道品川宿

宿品 会報みこしだこ

発行：旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会
2026年 新年版
2026年1月発行 第65号

100年後も祭りがつづけられるまちを！
～若手の参加をお願いします～

皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、京浜急行線の高架化工事も目に見える形になり、北品川駅舎、東海道をまたぐ高架橋、さらに北品川駅前広場などの計画が具体的に議論され始めています。これらの一連の工事は、私たちのまち品川宿の北の入り口、いわば「顔」に当たるもので、日常的な使いやすさ、安全性、快適性はもちろんですが、その「顔」にふさわしい機能やデザインについても大いに議論しなければなりません。

そしてまたこのエリアは同時に、品川浦周辺北地区／西地区／南地区の市街地再開発にも組み込まれていますので、この再開発においてこのエリアがどのように計画されるのか、とりわけ私たちの歴史遺産である東海道とその沿道の街並み景観をどのように計画するのか、それらを切り離して考えることはできません。つまり北品川駅舎や駅前広場の細部ももちろん重要ですが、それを取り込む再開発計画はさらに重要で、品川宿の100年後を決する最重要課題といえます。

私たちは平成7年に取りまとめた「まちづくり計画書」の中で、品川宿のまちづくりを「**次代を担う子供たちに、いつまでも祭りがつづけられるまちを伝えていく**」と定めています。それから早31年。私たちが当時「次代を担う子供たち」と考えていた人たちがすでに、地域の担い手として活躍をしてくれています。そこで、若手の皆さんとまさに次の世代に関わるこの大きな課題について大いに語り合い、私たちなりの提案をまとめたいと考えています。そしてその提案づくりの進行役を景観アドバイザーの皆さんにお願いすることにしました。皆さんもご存知の通り、品川宿は「品川区景観計画」の中で重点地区に定められていますが、その景観づくりの根幹を支え日々、献身的に活動して下さっているのがこの景観アドバイザーの皆さんです。

いま品川宿が直面しているこの難局を乗り切るには、皆さんの結束と次代を担う若手の参加が不可欠です。まずは若手の皆さんにお声掛けいただき、まちづくり協議会の活動に参加下さるようご尽力いただきたいと切望しております。

昭和63年に「東海道の歴史性を活かしたまちづくり」をテーマに活動を開始したこの会も今年で38年目、平成13年に「東海道400年祭」を祝ってからもう25年になります。もう一度、原点に還って皆さんとともに品川宿のまちづくりに取り組みたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会
会長　堀江 新三

特別事業

特別企画展示

鳥の目で見た、200年前の品川宿
～南品川を中心に～

昨年度の北品川＋猟師町編に引き続き、南品川を中心とした「江戸名所図会」展を開催中です。200年前の図会とドローンで撮影した現代のまちの比較をお楽しみください。

会場：品川宿交流館　入場無料
主催：品川区
期間：2025年9月27日～2026年3月末 10時～16時。月曜日休館（月曜日が祝祭日の場合は翌日休館）
展示説明会：期間中の毎週水曜日 ❶13時～ ❷14時～ ❸15時～
shinagawashuku.com/



左）江戸名所図会に描かれた貴船明神社（荏原神社）　右）左の図会と同じアングルから撮影した現在の風景（品川橋が見える）。

品川宿まち歩き

江戸名所図会から200年前のまちを探そう！

1月31日（土）：天妙国寺から海晏寺
2月28日（土）：鈴ケ森から磐井神社
＊前半の2回分はすでに終了しています。
講師／まち案内人：田中義巳（街道文庫主宰）
集合：13時30品川宿交流館
140-0001 品川区北品川 2-28-19
講座40分／まち歩き50分
現地解散：15時（予定）
定員：10名。参加無料
申し込み多数の場合は抽選
参加申し込み：お名前を明記の上、Eメールにてお申し込みください。
品川宿交流館（運営：旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会）
Eメール：machikyo@west.cts.ne.jp
ホームページ：https://www.toukaido-shinagawashuku.com/



水辺プロジェクト

しながわ水辺の観光フェスタ 2025

ふるさと品川宿（秋の運河花火まつり2025）

品川宿で生まれ育った私にとって、ここは大切なふるさとです。だからこそ、積極的に地域のイベントに参加しています。品川宿の数あるイベントの中でも、「しながわ水辺の観光フェスタ」で開催される秋の運河花火まつりは思い入れ深いです。やりたいと思ったことを受け入れ、実現を支えてくれる仲間たち、そしてその楽しさに魅了された人々がさらに繋がっていき、心地よく楽しい時間を共有できるイベントとなっています。

私は主にステージ運営を担当し、地域団体にスポットライトを当てることで、来場者や出演者に楽しんでいただける場をつくっています。

今後も運河まつりなどを通じて地域コミュニティを活性化し、水辺と都市、文化が交わる場を創出しながら、品川宿の魅力を広く発信していきたいと考えています。（なぎさの会　副会長　犬塚 尚樹）



しながわ水辺の観光フェスタ ～スポーツフェスティバル～（グラウンド企画）

令和7年 10 月 10 日（金）11 日（土）12 日（日）しながわ水辺の観光フェスタ～スポーツフェスティバル～を開催しました。「はじめてでも楽しめるスポーツ体験」をコンセプトに、青空 family フィットネス（品川区エアロビック連盟）、ブラインドサッカー ®（日本ブラインドサッカー協会）、フットサル（しながわシティフットサルクラブ）、FC 東京親子サッカークリニック、ラグビー（JR 東日本レールウェイズ）、ホッケー（フリークス東京）、チア（品川 CC RainbowVenus）、フラッグフットボール（品川 CC ブルザイズ）の体験教室を実施しました！

地域とスポーツ、そして人がつながる素晴らしい時間となり、子どもたちの笑顔が溢れる楽しい体験の場となりました！（品川 CC　湯浅 源）



品川橋会場（灯篭ロード+しながわ橋テラス）

本年度も品川橋にて「しながわ水辺の観光フェスタ」東海道しながわ橋テラスを開催しました。会場では多彩な企画が行われました。

La capi の菓子販売や街道文庫の古本市、select の雑貨販売、ワークショップや雑貨販売等を通じて交流が生まれ、地域の繋がりを感じるひとときとなりました。今後も地域に根ざした交流の場を継続していきます。

雨のため中止となってしまった目黒川沿い城南第二小・台場小の子どもたちによる灯籠展示<灯篭ロード>は、11 月 1 日に延期開催し、200 点近い灯篭が目黒川沿いの小道を照らしました。多くの家族が足を運んでくれて、今後の継続の励みとなりました。（関口　絵理）



水辺の社会実験

令和 7 年 10 月 4 日から 11 月 22 日にかけて、東品川海上公園船着場の今後の活用を検証することを目的に、まちづくり協議会水辺プロジェクトとして、品川区河川下水道課と連携し「水辺の社会実験」を実施しました。期間中は、SUP や E ボートなどの非動力船の活動を通じて、地域の子どもたちをはじめ、幅広い世代が水辺に身近にふれ、楽しめる機会を提供しました。安全性や運営方法を検証しながら、水辺をより身近に感じられる環境づくりを進めています。令和 8 年度にはパーク PFI 事業による公園整備も予定されており、今後は地域・行政・企業が連携し、「公園」と「水辺」双方の魅力をつなげ、高めていくことを目指します。なお、本活動の様子はケーブルテレビ品川の番組でも紹介され、YouTube で視聴可能です。ぜひご覧ください。（水辺プロジェクト　大竹幸義）



視聴は
＼こちらから／

しながわウォータープレイ

2025 年 11 月 2 日および 11 月 16 日、東品川海上公園船着場にて「第 2 回品川ウォータープレイ」を開催しました。水上バイクやカヤック、ウォーターロール、アクアボールなどの水上アクティビティーを実施し、子どもから大人まで幅広い世代が参加しました。家族で楽しめるコンテンツを中心に構成したことで、会場は多くの来場者で賑わい、大盛況のうちに終了しました。本イベントを通じて、水辺を身近に感じてもらう貴重な機会となりました。（なぎさの会　寺内　崇）



秋空の下･目黒川でEボート体験

昨年 11 月 16 日、目黒川がリボンで彩られる「目黒川オータムプロムナード」の連携企画として、E ボート体験イベントを共催しました。

旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会、勝島運河倶楽部の皆様と力を合わせ五反田リバーステーションと東品川海上公園を結ぶ航路をEボートで巡る、初の試みでした。当日は晴天に恵まれ、親子連れなど多くの皆様にご参加いただきました。

参加者はライフジャケットを着用し、力を合わせてオールを漕ぎながら、普段とは違う水上からの景色に船上は子どもたちの歓声と笑顔に満ちていました。

3団体が目黒川で繋がったこの連携を第一歩として、品川区の水辺地域がさらに繋がっていければと思っています。（(一社) 大崎エリアマネージメント 山田瑛平）



勝島運河倶楽部

勝島運河倶楽部は、品川区にある勝島運河周辺をフィールドとして、2005 年に発足した地域団体です。水辺の自然や暮らしの知恵を生かした環境教育や、将来世代の健全な育成ならびに地域コミュニティーの発展、寄与することを目的として活動しています。

本年は、勝島に設置されている協議会の浮桟橋の修繕を品川区河川下水道課の補助により行うことができました。また、自然園の草刈りも行ってジャコウアゲハの生態保存にも取り組んでいます。

東品川海上公園では、定期的なシーカヤック教室を開催しています。今年初の試みとして、俳句の会とEボートのコラボレーションを行いました。カナルフェスイン勝島は雨天により中止になりましたが、来年に向けて花海棠と協力して桟橋を利用した活動を行う予定です。さらに、水辺の生態系保全に取り組む予定です。（嶋村　泰輝）



宿場周辺 TOPICS　各商店会 一年をふりかえって

●北品川本通り商店会

秋晴れの 11 月 3 日、北品川本通り商店会・北品川一丁目町会共催の「第 9 回親子で防災訓練」に約 180 名が参加しました。訓練内容は、地震体験・煙ハウス体験・水消火器訓練・スタンドパイプ訓練・AED 訓練と、参加した親子みんなが見るだけではなく直接触れて体験することに重点を置いています。初めて消火器に触ったり、ホースの筒を持って実際に放水したりと子どもたちはドキドキしながら訓練に励んでいました。

また今回は初めて品川女子学院の生徒さんも参加してくださり、ロープワークブースを開設し、こちらも常に満員でとても好評でした。自分たちの町は自分たちで守るために、今後も企業・学校と更なる連携を図りながら続けていきます。（石渡 健夫）



●北品川商店街協同組合

令和7年 5 月に行われた総会において理事長を拝命しました堀口と申します。また、それに伴って新役員 2 名も迎えての初年度となりました。

6 月の祭礼提灯に始まり、8 月の町会盆踊りの出店や 9 月のしながわ宿場まつり、10 月のハロウィンイベント、1 月のガラポンを軸に活動しました。催し物以外では「公式 LINE」の運用を始めました。これまで 1 店舗 1 店舗巡回していたものや、告知しなくても良いと判断していた案件も簡単手軽に加盟店にお知らせができ商店街運営面で役にたっています。

新役員の活躍やデジタルツールの使用など、今後もブラッシュアップし続ける商店街としていきたいと考えています。（堀口 尚利）

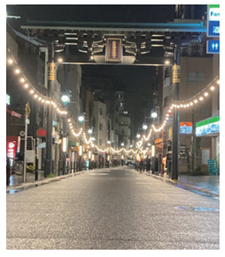


●北馬場参道通り商店街

昨年、長きに亘り商店街活動に尽力下さった加藤丈幸理事長が勇退され、大塚明郎理事が理事長に就任、新たに船出致しました。

5月には久々に単独イベント『初夏のワクワク感謝祭』を開催。レシートキャンペーンに併せて、LED 電球を飾り付け、お客様や店舗の皆様に喜んで頂きました。

本年も「品川神社例大祭」や「北ニ町会盆踊り」『しながわ宿場まつり』に協賛していくほか、単独イベントも続けて開催したい所存です。（大塚明郎）



●南馬場商店会

南馬場商店会の会長をお引き受けして 2 年が経ちました。2025 年には、かつて親しまれていた「沢庵マルシェ」を「南馬場お彼岸マルシェ」として 20 年以上ぶりに復活させることができました。子ども向けの忍者修行や飲食・物販、ワークショップ、たくあん販売、写真展示など、世代を超えて楽しめる内容となり、3 月･9 月の開催で延べ 2,000 人以上の方にお越しいただきました。今後もマルシェや企業連携を通じて、人が集う温かな地域コミュニティづくりを進めていきます。（渡邊崇志）



●青物横丁商店街振興組合

新年あけましておめでとうございます。

日頃より青物横丁商店街の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。 当商店街では、無病息災と商売繁盛を願い、正月恒例の新年獅子舞を行ってまいりました。本年も令和 8 年 1 月 9 日に獅子舞がまちを練り歩き、新年にふさわしい賑わいと福を皆さまにお届けすることができました。 また、品川寺さんとともに開催している青横マルシェも、地域の魅力を発信する場として、今年も一層盛り上げてまいります。 本年が皆さまにとって実り多く、笑顔あふれる一年となりますようお祈り申し上げます。（権 東品）



しながわ宿場まつり

＼しながわ宿場まつり／



2025年第 32 回しながわ宿場まつり　を、皆様のお力にて無事終了することができました。1990年に始まった宿場まつり、1988年に始まったまち協、どちらも東海道でつながる北品川から青物横丁を北と南の皆で盛り上げよう！　という考えのもと、30年以上品川っ子のアイデンティティを盛り上げる努力をされた皆様に心より尊敬をいたします。その中心にいらした堀江新三先輩より、私が実行委員長になったときに言われた言葉　怒っちゃダメ! これはとても大切な言葉を頂いたと思いました。

まち協や宿場まつりはとても大きな組織になるので、その分意見も沢山出ます。

みんなが良くしようとの思いから、怒られる事も度々あります。何を言われても怒るのではなく、対話をして頭を下げる。そんな努力を堀江さんがされたから、30年以上どちらも続いて来たのだろう。と改めて思いました。

この教え、しっかり守りながら、今年も宿場まつりやまち協を盛り上げて行きたいと思いますので、皆様のご支援、ご指導を引き続きよろしくお願いいたします。（しながわ宿場まつり　実行委員長　大橋 登）

＼第5回　しながわ宿場ナイト／



2 年前のしながわ宿場まつりの際に、北品川本通り商店会に夜までお客さんを滞留してもらう目的と、品川宿は町人のまちということで始まり、以降春と秋に開催して今回で 5 回目を迎えました。

今年も第 32 回しながわ宿場まつり初日に開催し、昼間は品川区のクルーズ船に江戸町民の扮装をした出演者達が乗船し、どの船も満員。夕方からは商店会も多くの皆さまで賑わい、どの参加店も満席の大盛況でした。

来場者の中には外国人も多く、店前の縁台でくつろぐ町人や花魁と、記念写真撮映や乾杯して大いに盛り上がりました。また、某幕内力士もこれまでに 2 回お忍びで来宿してくださっており、今後の展開も楽しみです。（北品川本通り商店会 副会長 大越　章光）

＼宿場まつり交流／



令和 7 年 9 月 27 日、第 32 回しながわ宿場まつりが、晴天のもと盛況のうちに開催されました。

品川橋の上では、東海道交流の場として、外郎売の口上（小田原宿）、米山流殺陣術、お江戸紙芝居「まないた座」などが披露され、会場は大いに賑わいました。

交流館周辺では、「品川宿ゆかりの地域交流うまいもの市」として、毎年恒例の鹿児島県南さつま市、長野県飯田市、高知県、神奈川県湯河原町などが出店し、各地の魅力あふれる味が来場者を楽しませました。

また、韓国・大邱の視察団の皆さまのパレード参加もあり、例年以上に国際色豊かな品川宿らしい交流が生まれました。

多彩な交流の場をともにつくってくださった出店者の皆さま、円滑な運営を支えてくださった「なぎさの会」の皆さまに、厚く御礼申し上げます。（竹中茂雄）

品川宿周辺 TOPICS 地元あれこれ

●第12回品川蕪品評会

年の瀬もせまる 12 月下旬の日曜日、聖蹟公園に荏原流れ太鼓の音が響き渡り、NPO なすびの花主催「品川蕪品評会」が開催されました。今年で 12 回目の品評会は、初めての聖蹟公園での開催となり、その賑わいにふらっと公園に吸い込まれ、品川蕪の存在を知ることになった地元の方も多かったかもしれません。公園に集まった多くの参加者は、品川蕪をはじめ人参、ごぼう、きのこ、お揚げなどの具がたっぷり入った品川汁で体を温めました。

講談師 田辺師匠による江戸東京野菜講談、ムード歌謡の代名詞として知られる昭和を代表するグループ、ロス・プリモス徳永氏の歌唱ステージと続き、品川社協音頭では老若男女問わず、円になって踊り雰囲気は最高潮。肝心の品評会では、個性豊かな 51 個人・団体の品川蕪が所せましと並び、審査員の目を楽しませ、見事金賞を受賞したのは 2 年連続となる台場保育園でした。発表とともに大歓声があがり、品川蕪づくりにチャレンジした子供たちの笑顔に大人の表情もみなゆるむ締めくくりとなりました。(NPO なすびの花　包　絵織)



●台場小学校6年「みんなでよりよいまちをつくろう」

台場小学校では、5年生で「歴史まちあるき&目黒川クルーズ」、6年生で「東海道歴史探訪」「海洋学習」を実施し、その集大成として6年生が探究的学習「みんなでよりよいまちをつくろう」(市民科)をテーマに地域の方々を招きプレゼンテーションをし、協議を交わし、さらにゲストティーチャーを招いての提案発表会を行いました。

<熟議を終えて>

今回、熟議を行ってみて、自分たちではできるかぎり完璧に近づけたつもりでしたが、ゲストティーチャーの皆さんにアドバイスをいただき、もっとより良い提案ができると思いました。また、自分たちにとって当たり前のことは、他の地域に住んでいる人にとってはすごいことだということを教えてくださったので、提案に取り入れていきたいです。今回もらったアドバイスをもとにもっと良い提案にしたいです。(台場小学校6年)

<提案発表会を終えて>

今回の提案発表会を通じて、私たちは、自分たちが住んでいる街について調べてよく知り、もっと好きになり、自分たちが大好きな街をより良くするために全力を尽くせたのではないかと思いました。これからも台場小の6年生が引き続き取り組んでくれたら良いと思います。未来の6年生が私たちの提案を参考にするなど、すごいと思ってくれたらとても嬉しいです。そして来年、再来年と、毎年より良い案が出てくるといいと思います。

今までアドバイスをしてくださったり、提案を聞いてくださったりしたゲストティーチャーの皆様、ありがとうございました。(台場小学校6年)



●『WORLD ENNICHI』

コロナが明け、気軽にみんなが集う場所 " 縁日 " をやろう!とご近所の仲間と『WORLD ENNICHI』がスタート。テーマの通り世界の縁日、台湾に始まりメキシコ、韓国、ドイツなど世界のお酒や料理を提供。最近は日本の美味しい食も楽しみたいということで " 信州の夜 " を開催。今回は産地の方の協力を得て材料を揃えメニューを決めました。そんな『WORLD ENNICHI』は仲間の輪が広がって、地域のご近所飲み会に発展したら楽しいなと思って運営しています。開催は春と秋の年2回。次回は 4/29(水)、いつもの新馬場・本照寺さんにて " タイの夜 " を開催予定。気軽にタイビールでも飲みに来てください。興味がある方、ご近所飲み会大賛成という方、是非お声がけください。みんなで楽しく縁日しましょう。(yo-co)



●第9回 ドキュ・メント

2026年1月24日（土）25（日）第9回『ドキュ・メント』開催!

昨年1月、新馬場の本照寺を会場にお借りしてドキュメンタリーの祭典『ドキュ・メント』を開催しました。テレビや映画の作り手が集まり、「画面越しではなく、熱を直に届けたい」という思いから始まりました。2017 年に縁あってまちづくり協議会の方々と出会い、「そういうことならここでやれ!」という温かい言葉をいただき、以来毎年欠かさず9回目を迎えます。ただ上映するのではなく、作り手や出演者が登壇し、飲食も交え観客と交流する場です。今回は「善福寺」さんと「そば処 いってつ」さんをお借りし、品川宿の方々の短編も上映しました。我々のような「流れもの」を受け容れて下さる懐深い町に感謝し、来年10 周年を目指します!



●大切な人 大切な地球 大切な自分に select your special

南品川の「よもぎ蒸しサロン select」です。無農薬よもぎで身体を整える温活はもちろん、「人・まち・地球」の健やかな循環を大切にしています。

品川区表彰実績のある地域清掃に加え、廃材を使ったモノづくりワークショップなど

子供から大人まで楽しめるエシカルな体験会も毎月開催中。

身体を温め、心も温まる特別な「選択(select)」を、ここ南品川からお届けします。(よもぎ蒸しサロン select　村川哲也)



詳細はこちらから

●こども冒険ひろば

北浜こども冒険ひろばには、使わなくなったおもちゃや服、ダンボール、竹、廃材など、「ここで役立つのでは?」と地域の方が気にかけて声をかけてくださいます。竹は工作材料になるだけでなく、立てたり登ったり戦ったりと、子どもたちが全身で挑む遊びに変わります。昨年 9 月のイベント「ダンボールの町つくろう」では、ダンボールで家や迷路を作る子、他の子が作ったもので遊ぶ子、改造する子など、遊びが次々につながっていきました。

自分が作ったもので他の子が遊ぶ姿を、誇らしげに見つめる表情が印象的でした。ベンチには、そんな子どもたちを見守る方々の姿もあります。地域の温かなまなざしに、子どもたちの遊びと育ちは支えられています。(北浜こども冒険ひろば　栩秋太洋)



●エンタメ処方の立ち寄り処、はじめました

人の往来と支え合いの歴史を重ねてきた品川で、音楽制作を行う事務所の一角を生かし、社会的・精神的フレイルを予防する居場所づくりを行っています。

新しく品川に加わった方も含め、立場にとらわれず、共助が行き渡る地域づくりのため、エムむすびでは「スマイル DISCO（大人の文化祭）」のほか、毎週「火曜ラウンジ（クラフト・ゲーム・おしゃべり交流）」を開催中です。

小さな挑戦を重ねながら活動を続けています。皆さまもぜひ「こんな企画をやってみたい」「この人に声をかけてほしい」といった提案や気づきがあればお伝えください。

2026 年も、一人ひとりが自信を持って暮らし続けられるよう、心を刺激する場を提供してまいります!（ふらっと Q スタジオ 店主）



●音楽フェス「人と麦と音」

2023年に始まった音楽フェス「人と麦と音」は、今年で3回目を迎え、10月25日本照寺にて開催しました。

あいにくの雨模様の一日となりましたが、それでも多くのご家族連れや地域の方々にご来場いただき、温かな交流が生まれました。

本イベントは、東海道最初の宿場町・品川宿がもっていた「よそ者と地元の人が自然に混ざり合う文化」を、音楽や食を通して現代に再編集する地域文化プロジェクトにしたいと考えております。品川宿の魅力や日常の空気感を大切にしながら、人と人が出会い、関係がゆっくり育つ場づくりを目指しています。

来年以降も地域に寄り添いながら継続し、品川宿の活性化に少しずつ貢献していきたいと考えています。(長谷川信一郎)



●宿場JAPAN近況報告

2025 年は、全国各地から年間 20 回を超える視察の受け入れを行い、堀江さん、佐山さん、竹中さんをはじめ、品川宿の皆さまには多大なるご協力をいただきました。

また、今年の5月にはまちづくり協議会とパートナーシップ協定を提携いたしました。再開発などのまちの変化を鑑み、より持続可能なまちづくりを目指して行くためです。

その活動の一つとして、7 月には、実際に働く商店街の店主さんや、品川宿に住んでいらっしゃる方に密着するような、ヒューマンドキュメンタリー「STORIES」をリリースしました。これは、単なる観光消費にとどまらず、対話や交流を通じて地域と関係性を結び、その価値が人と人の間で循環していくことを目指した取り組みです。

発表後サステナブルの観点から様々な方にご興味を持っていただき、持続可能な観光などを考える東京都観光財団のイベントに、品川区文化観光戦略課・まちづくり協議会・宿場 JAPAN の三者で登壇を行いました。今後も、より地域の魅力を掘り下げたツアーを展開してまいります。(宿場 JAPAN　玉井（渡邊）崇志)



●天王洲アイルについて

（一社）エリアマネジメント TENNOZ では、未来ビジョン「水とみどりとヒカリの楽島（ecoisle）」を掲げ、官民連携による持続可能なまちづくりを進めています。約 40 年にわたる民間主導の歩みを経て、公共空間の維持に向けた新たな体制構築が課題に。2026 年 2 月、今後 10 年を見据えたワークショップが開催されます。（一社）天王洲・キャナルサイド活性化協会によるアートや観光を通じた魅力発信も強化中です。

((一社)エリアマネジメント TENNOZ 事務局・広報部　松岡久美子)



『水とみどりとヒカリの楽島　天王洲の今と未来 官民連携のまちづくり「水とみどりの天王洲エリアプラットフォーム」活動記録』より抜粋

●「品川宿ハロウィン2025」

11 月 1 日、「品川宿ハロウィン 2025」を開催しました。自分達の住む街の商店街を知ってもらうきっかけ作りも目的のひとつとし、子供たちが楽しめるハロウィンイベントを復活させたいとの想いで企画した第三弾。今回も商店街での開催（ゴールを本照寺）とし、スタンプラリーやミニ謎解きも追加。子供たちが喜ぶなら是非に!と 3 つの商店会や各店舗、企業や団体から御協力と協賛を頂戴し、子供たち・保護者合わせて 300 人ほどの参加者数で無事に終えました。

当日は仮装した子供たちが街を歩いているのがとても可愛く、いちばん好きなハロウィンイベントとのお言葉もいただけたので、今後も恒例の街のイベントのひとつとして根付いていけたらと思います。(zakka+café La capi)



●北品川ミカサ

まちづくり協議会の会合で知り合ったせんべい・あられ処あきおかの小沢竜也さん。猫の写真を撮っておられるとのことで、あきおか創業130周年を記念して『小さな写真展』をミカサ店内で開催しました。

モノクロームで撮られた品川宿の小さな隣人(猫)たちに、ツウのお客さまからは「あ、この子知ってる」との声も。写真展開催にあわせて販売した、品川巻と私の好きなあきおかさんのごませんべいが入った、あきおか×ミカサコラボせんべい小袋は、一人で2つ3つ手に取られる方もいました。

1月からは、北品川在住の刺繍作家さんによる『小さな絵画展』を開催予定です。入場無料、お気軽にお越しください。(茨木　直子)



景観まちづくり事業

「生まれ変わる北品川パート3」

「まちとまち、人と人とをつなぐ駅。」【まち×あい】をコンセプトとした新しい北品川駅のデザイン（案）が9月に発表されました。宿場町のまち並みイメージを継承する景観デザインで、地元の皆さんの声が反映されたものとなっています。意見募集期間は終了していますが、京急電鉄のホームページで閲覧することができますので、ぜひ一度ご覧ください。

鉄道高架化工事も進んでいます。緑色が象徴的な鉄道トラス橋であります八ツ山跨線線路橋も架け替えとなりますが、大きなトラス橋が新しい線路橋として品川駅側に架設に向けて準備されています。品川駅周辺の開発も着々と進んでおり、時代の転換期にいることを実感するとともに、後世に受け継ぐまちをつくらなければならない責任も強く感じています。これから北品川駅駅前広場の設計を行っていきますが、新しい北品川駅駅舎や旧東海道の歴史・文化にふさわしく地元に愛される駅前広場となるよう、進めてまいります。（品川区　片山）



令和7年度、景観アドバイザーの活動について

現在までアドバイザー窓口と景観会議が予定通り開催されています。

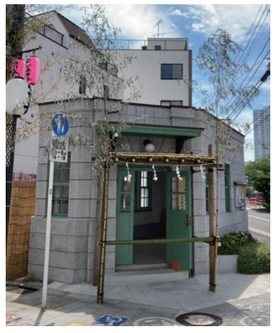
今年度は北品川駅高架工事にともなう高架橋や駅舎、また駅前広場の計画を少しづつ具体化するための動きが始まっています。景観アドバイザー業務の中でそれらの情報に触れる機会があるのですが、品川区からの委託業務ですから守秘義務を課せられていますので、ここに詳細を記す事は出来ません。

しかしながら、一般に向けての情報提供が既に行われている物もありますし、今後、一段と情報提供の機会は増えて行くのだろうと期待もするところです。特に若い世代のみな様で、このまちがどうなって行くのかに興味のある方は、注視いただければと思います。（景観アドバイザー　伊與久なつむ）

南品川櫻河岸　まちなか観光案内所

今年も多くのまちあるきの方々の立ち寄りや、南の例大祭では地域の休憩所として、町会の交通安全週間詰所など、地域活動の場として活用されました。

海外からの旅行者による東海道あるきが目立った年でもありました。20日ほどの日数をかけて京都から歩いてきた方、日本橋から京都へ向かう方、みなさん日本の歴史に興味が深く、東海道を通じてそれを体感しようと歩いている様子でした。それに伴い、ウォーキングガイドとしての東海道マップを望む声が多いため、ふとGoogle マップで東海道を辿ってみると、途中から街道の名が変わっていたり、東海道の名すら記載されていなかったり。Google マップ上の「東海道」表記の統一を働き掛けたいと思った次第。（わだふじこ）



灯篭プロジェクト2025

2025 年 11 月 1 日（土）「灯篭ロード」が行われました。しながわ水辺の観光フェスタと同時開催の予定が雨で中止となり、日程を延期して行われたものです。場所は東品川3丁目の社会福祉法人福栄会さん裏の目黒川沿いの通です。

灯篭は旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会の「灯篭プロジェクト」で用意した灯篭キットを使い、城南第二小学校3・4年生と台場小学校3年生が毎年つくってくれています。

川沿の通りの両端に並ぶ 200 個以上の灯篭。お父さんお母さんを連れて自分の作品を嬉しそうに観てもらう子供たち。個性あふれる様々な灯篭が並びます。

大勢の人が観賞に来てくれて、とてもうれしく思いました。毎回、来年もお願いしますという声をいただき、今後も継続して行います。ご支援ご協力をお願いいたします。（小野　文義）



しながわスポーツまちづくり

フリークス東京

品川区から日本一へ!ホッケーチーム「フリークス東京」です。 私たちは東京 2020 五輪の会場となった大井ふ頭中央海浜公園を拠点に、国内最高峰の日本リーグで全国の強豪に挑んでいます。

約 10 年前、品川区での五輪開催を機に地域のお祭り等で皆様と出会えたことが、今の私たちの原点です。街で声をかけていただくたび、地域の皆様に支えられていることを実感しています。

また、次世代を担う小学生や U15 チームも元気に活動中！「スポーツを楽しみたい」お子さんは、ぜひ一度体験にお越しください。これからも品川の誇りを胸に、全力で駆け抜けます。熱いご声援をよろしくお願いします！（フリークス東京 GM 長谷川 慧）



品川カルチャークラブ

品川 CC は、「日本一お祭りに出るスポーツクラブ」を掲げ、今年もたくさんのお祭りに参加させていただきました。運河まつり、宿場まつり、東海道駅伝等確、様々なイベントに参加させていただき、地域の皆様とたくさん交流させていただくことができました。そしてその結果として、各競技の試合に地域の方々に数多く来ていただけるようになっております。街を支えるインフラのような存在になるべく、引き続き様々なイベントに参加していければと思ってとります。

サッカー、チア、バスケ、アメフト、ブラインドサッカーと 5 種目の競技についても引き続き頑張っていきます。来年も品川エリアの皆様とたくさん交流していけたら嬉しいです。引き続きよろしくお願い致します。（代表　吉田祐介）



ホッケー日本代表

2025年度は、日本ホッケー協会にとって大きな転換の年となりました。8年間支えていただいた損保ジャパンとのスポンサー契約が一区切りを迎え、品川にゆかりの深い SONY を新たなメインスポンサーとして迎えています。まさに「品川から世界へ」、次のステージへ踏み出す一年となりました。

2026 年は、2028 年ロサンゼルス五輪を見据えた極めて重要な年です。ワールドカップ予選・本大会、愛知・名古屋アジア大会と大きな大会が続き、特にアジア大会での優勝は五輪出場権に直結します。

昨年は品川区での代表活動が限られましたが、選手たちは日々努力を重ねています。私自身、チリで行われた U21 ジュニア W 杯に帯同し、若い選手が世界に挑む姿に大きな感銘を受けました。品川から世界へ羽ばたく選手たちを、長い目で応援していただければ幸いです。（（公社）日本ホッケー協会事務局長　坂本幼樹）



Copyright：worldsportpics.com/Frank Uijlenbroek

＼東京デフリンピック応援／

東京2025デフリンピックから自分の街へ

2025年11月14日から26日まで聴こえない・聴こえづらい日本代表選手が世界一を目指す「デフリンピック」という大きな国際大会が東京で開催されました。

デフスポーツへの関心が社会全体に広がったと感じておりますが、聴こえない人と聴こえる人と一緒に応援できる「サインエール」や「手話」、そして、聴くだけではなく見るという情報保障の考え方と多くの学びがありました。

考え方として、世の中は聴こえる人が大多数に合わせられた環境で街が作られている傾向にあり、少数派である聴こえない人や車いす、目が見えない人等様々な人たちをもっと巻き込んで一緒に対話していきながら街を作っていくことがとても大切だ。

障害という言葉は「人」ではなく「環境」を変える視点になってほしいと願っています。（サインフットボールしながわ　植松 隼人）



デフ卓球 コロンビア共和国選手団との交流

品川区内に所在するコロンビア大使館とのご縁をきっかけに、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー事業の一環として、東京2025デフリンピックに向けたコロンビア卓球代表チームの事前交流事業を実施しました。

交流の場では、南馬場商店会会長の玉井会長よりご挨拶をいただき、地域を挙げて代表選手を迎える盛大な激励会を開催しました。

滞在期間中は、品川区立総合体育館にて区内の小・中学生との卓球交流を行ったほか、台場小学校での特別集会への参加、品川宿の書道教室での書道体験など、スポーツと地域文化の双方を通じた多面的な交流を実施しました。

本事業を通じて、国籍や障がいの有無を越え、地域・学校・商店街が一体となって国際交流を育む結果となり、地域交流を深めていきたいと思いました。（宿場トラベル　長谷川・有賀・金澤）



デフサッカー日本代表

元男子デフサッカー日本代表監督・品川区公式デフリンピックサポーターで品川区出身の植松隼人さんとのご縁をきっかけに、2023年よりデフサッカー日本代表の活動支援を行っています。

天王洲公園を拠点に実施される品川CCとのエキシビジョンマッチを含む2泊3日の合宿の受け入れ・運営をサポートし、競技と地域が交わる交流の場づくりに取り組んできました。また、2025年4月には国立競技場でのエキシビジョンマッチも応援・サポートしました。

デフリンピック2025東京大会では、惜しくも銀メダルという結果となりましたが、閉会式後には選手たちの希望により、天王洲にて祝勝会を開催しました。

当日は、森澤恭子品川区長、渡辺ゆういち品川区議会議長、品川CCの吉田祐介代表にもご参加いただき、競技の成果を称えるとともに、スポーツを軸にした地域とのつながりを改めて実感する場となりました。（宿場トラベル　渡邊・長谷川・金澤・有賀）



タイデフキッズ合宿



2025年8月21日～ 25日、タイと日本で2年ごとに交互開催しているデフキッズサッカー国際交流キャンプを受け入れました。

両国の小学生26名を含む約40名の参加者の宿泊および交流全体をコーディネートし、北品川の善福寺に滞在しながら、盆踊り、スイカ割り、花火といった日本の夏文化を体験する交流プログラムを実施しました。

また、天王洲公園ではサッカーを通じた交流を行い、競技を介して自然なコミュニケーションが生まれる場を創出しました。最終夜には味の素スタジアムにてFC東京の試合観戦を行い、言葉の壁を越え、手話を用いて積極的に対話する子どもたちの姿が印象的でした。本取り組みを通じて、スポーツと地域文化が国や障がいの有無を越えて人と人を結びつける力を持つことを、改めて実感する機会となりました。（宿場トラベル　金澤・有賀・長谷川）

OKJエアロビ×デフサッカーコラボ企画



OKJは、城南小学校近辺を起点に1998年全国に向けてとしてフィットネスプログラム提供の事業をスタート。品川健康センターを中心に毎日たくさんのファミリーの皆様とフィットネスライフを共創しています。

デフリンピック開幕直前の10月29日日曜日、サインフットボール（聴こえない子と聴こえる子も一緒に行うサッカー）チームの子どもたちとエアロビックトレーニングを行いました。視覚情報伝達を明確にして、クラス運営。子ども達も保護者の皆さんも・・・植松隼人監督も!ノリノリ♪

全身で情報をキャッチする姿に沢山の事を教えていただきました。

2026年もご一緒させていただけますように！

当日の様子はこちらから